

会 議 録

会議の名称	第6回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和3年7月9日(金) 午前9時00分～午前11時35分 学校見学：第二小学校 9時00分～9時30分 第一小学校 9時40分～10時10分 中学校 10時20分～10時50分 会 議：中学校 11時00分～11時35分
開催場所	長瀬中学校 1階会議室
出席者	委員13名 事務局4名
欠席者	委員 3名
会議の内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 意見交換会 長瀬町立小中学校の授業の様子や施設の状況を見学してみても (2) その他 4 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6回長瀬町学校のあり方検討委員会次第</li> <li>・ 長瀬町立小・中学校を見学して感じたこと (記入用紙)</li> <li>・ 令和3年度学校間の比較 (資料)</li> <li>・ 当日の各小中学校の学習指導計画 (資料)</li> </ul>
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録

その他の必要事項	
----------	--

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (事務局)

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 意見交換会

長瀬町立小中学校の授業の様子や施設の状況を見学してみる

事務局) 各小中学校の校長先生の方から各校の課題をだしていただきました。それぞれの学校の良いところ、今の課題、これからの課題ということでまとめていただきましたので、校内の様子と合わせてご意見をいただければと思います。

委員長) 良い授業風景、子どもの雰囲気、先生方の指導の感じ等を見させていただいたので、皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。

委員) 3校見学させていただきました、それぞれの学校の良さ、クラスの活気のある状況というのが、目で確かめてとても勉強になりました。いろいろ課題があったのですが、3校を見学させていただいて同じ町内に住む小学生として、第一小学校の1年生が2クラス、第二小学校の1年生は男子が6名ということで聞いていたのですが、男女比それから交友関係の人数等を考えると、いろんな個性を学ぶ時期、いろんな個性を認識する時期を失っているのではないかなというのが一番の感想でした。中学校の掲示にもありましたが、学校は社会の縮図ということもありまして、子どもたちが不均衡なのではないかというのが、今一番印象に残っています。狭い人間関係になっていくのではないか、それぞれメリット、デメリットありますが今一番印象に残っているのはその点です。

委員) 第二小学校をみて人数的にはだいぶ少ないなという印象はあるのですが、勉強するにはいいかなという気持ちもします。最低でも20人ぐらいいれば、何をするにも目が届いて、先生方も良いのではないかと思います。第一小学校では、コロナの時期であれだけの人数の中でやっていると少し心配の面もある。また、施設の老朽化で雨漏りなどは危ない気持ちもします。平沼委員と高学年が第二小学校に行ったり、逆に交流して人数

を均等にすればいいかなと話をしてきたのですが、人数的にも多くなっていいかなと思いました。中学に入学した場合は、人間関係ができているので一緒になっても友達同士で話ができ、仲間意識が持てていいかなと思いました。

委員) 二小の方を見たときに、校舎がきれいで改修したばかりなのかなと感じました。仮に、二小を閉めて一小のほうにと考えたときに、そのままにするのはもったいないなど、何かに使う方が良く感じます。二小のほうを見たときに1年生が6人男子でしたが、10人くらいいて、人間関係が男女いるほうが色々なところが引き締まるのかなと思いました。中学校は、生徒たちがみんな素直でよい子という印象でした。中学校に一年間務めたことがあるが、大変だった。体育も男女一緒にやっている。私のいるころも男女一緒に体育の授業を試行的にやっていたのですが、今はそういう時代なのだと感じました。一小に統合するのであれば、校庭も校舎も非常に広いと感じました。

委員) 老朽化でいうと第一小学校はひび割れが多いかなと思った。あとはどの学校も中をきれいに掃除がしてあって、先生方が頑張っていると思う。教室を見て、緊急時の避難図が見当たらず、いつ地震があるかはわからないので、避難訓練などはしていると思うんですけど、気をつけていたかと思いました。

委員長) ありがとうございます。続けてお願いします。

委員) 二小は、少人数の影響もあり先生方の配慮が非常に行き届いていると思う。廊下の壁にいろいろと硬筆展の掲示がされていて、掲示が工夫されていたと感じた。仮に、一小と二小が統合になった場合、スペース的には二小にまとめるのは、ちょっと難しいのかなと思いました。先ほども意見があったとおり、二小は新しくしたばかりみたいなので、そちらを第一小に統合するということがあれば、中学校のほうにまとめるということもあると思うのですが、第二小の新しい校舎をそのままにするのはもったいないかなと思います。一小も二小もですが、トイレが明るくてきれいという印象でした。一小の老朽化が進んでいて早急に対策をしていただければと思います。

事務局) 第一小学校の方が、建物は古いですが、機能面としては第二小学校と同じように耐震化工事を行っています。第二小学校は、第一小学校を耐震化工事の後に行っていますが、同時に一部の内装工事をしたため、明る

くきれいですが、耐震補強の面では第一小学校と同じです。

委員長) 続きまして、お願いします。

委員) 各学校の先生たちが十分に整理されて教育熱心なのが全体的に感じられたのですが、その中で第一小学校と第二小学校の授業風景というのはこれほど違うのかなと感じました。どちらが良いのかというのは皆さんがそれぞれ感じるころだと思うのですが、私が感じているのは、第二小学校のほうが充実した一人ひとりの児童が教育面で恵まれている環境にあるなと感じました。人数が少ないというのが原因なのではないか、という感じがします。第一小学校と第二小学校の差をこのままおいていいのかなと考えますと、やはり今までの流れの中では、第一小学校と第二小学校は統合されれば、不公平のない環境で授業ができるようになるので、同じような環境になることが必要だろうと思いました。方向性としては、第一小学校でもそうだったのですが、教室の中に40人くらいの状況で授業されているのは、これでいいのかなと疑問に思います。統合して、第一小含めて、1学年を2クラスにして少人数できめ細かな授業ができるとよいのかなと感じています。環境面においては、第一小学校の雨漏りが目につきました。人数が多いせいか各教室が整備されていない状況があり、人数の多いところと少ないところの差が生活環境の中で出てくるのかなと感じました。教室が多くなると先生の日も行き届かなくなるのかなと感じました。中学校は、それがなく、良く挨拶をされていますし、個々の人間が自立した授業を行えると感じています。今の中学校の環境の中では、小学校が来るべきではないなという環境を確認させていただきましたので、統合で考えると小学校の統合、中学校の中ですと、今のような方向で考えるしかないかなと思います。長い目で見ても全部統一された設備というところで、コスト的にもメリットがあるような状況ができればいいかなと思います。各学校で同じような設備があるということは、デメリットもあるのかなと感じました。

委員長) ありがとうございます。続いてお願いします。

委員) 二小の人数は、初めてみたときは、塾みたいだと思ってしまった。一小に行くと、一番多い学年が書写をやっていて、36人を先生一人で見るとはすごいハードだと思って見ていた。20人ぐらいの机のスペースが一番理想的だと思いました。一小と二小の授業参観の風景を比べてみて、一小のお母さんが二小を見に行ったら、驚くだろうと思いました。人数が少

ないのは、算数でも体育でも先生が来てすぐに訂正してもらうのはいいなと、少人数ならではかなと思いました。中学校では体が大きいので教室を見た感じがこんなにも違うのかと思ったのですが、やはり20人くらいが理想的だなと思いました。小学校のタブレットを体育館で使っていたのですけれども、中学校と違っておおらかに使っているの、落とさないかなと、どきどきしてしまう。中学校の授業参観で見たときは、先生が落とさないように教室を巡回したりしていたので、先生のピリピリ具合が違うなと思いました。建物を見た感じは、人数が少ないから使わないテーブルとか実験器具とかがあって、それをみたら使わないから劣化していくのだなと思いました。

委員長) ありがとうございます。

委員) 教室にある道具などをみても同じくらいあるが、40人が一斉に使ったとしたらどれくらい使えるのかなと。二小だったら一人に一台使えるのに一小では使えないのかなと思いました。密度の差は明らかで、20人くらいがちょうど良いなと思った。30数名いてパーティションして夏場に熱中症にならないかなと感じました。二小では、コミュニケーションの補足は、縦割り班でいろいろしているので、1クラスの人数が少ないからというのではなく、全学年で活動するので、ある程度人数がいるほうが良いと思うが、少なくとも多くても利点が合わさるような学校が、今後できてくれば良いなと思いました。

委員長) ありがとうございます。

委員) 一小の高学年の密集と二小の高学年では明らかに格差があり、先程一小のお母さんに二小を見せたら驚くという意見がありましたが、そのとおりだと思う。私が思ったのは、今のことを考えてその発想を言ったのではないと思う。今、見た1年生が41人、令和4年が31人、5年が25人、6年になると16人、4年後の話ですよ。二小のほうはあんまり変わっていないのですかね。そうすると、4年後の令和6年の時、23人の長瀬町全体の1年生がどこに入学するのかということを見ると、今の一小に入ったとしてもゆるゆるという感じだと思います。今ですら一小の空き教室が気になりました。そういう部屋の使い方とか、校舎も曲がっていて迷路のように感じたりしたので、教室配置とか工夫して学年23人から35人くらいまでの長瀬町全体の子どもが入る場所というのを設定したほうが良いと思います。そういう意味では、二小でやってもいいかなとも

思いました。中学はしばらく40人台が続くと思う。今見た5・6年生が3、4年くらいすればあがっていくわけですから。3、4年後の小学校の低学年の姿をイメージして考える必要があると思いました。

委員長) ありがとうございます。

委員) 小学校、一小は多く、二小は少ないが、学区をずらして、半分くらいになるようにすれば、同じくらいの規模になっていくと思う。多少、通学には距離がでるが、それほどこの地区でも通学の長い短いはあるかと。そういう発想をできなくはないと思います。老朽化が原因でどこかで建て直さなければいけないという時期に、それぞれが今は耐震工事ができているが、この先に全部壊して新しくしなきゃいけないということを考えると、3校あるが3校ある場所に学校を残さなくても、広いところがあればそこに全部学校を持って行って幼稚園・保育園・小・中・老人・福祉関係など全部そこにまとめる発想に持っていける。学校の跡地には会社を誘致して税収の方を上げていく。そういう色々な発想をいろんなところで出し合って町の方に提案できれば良いかなと思いますので、思ったことを全部出し合って行けたらなと思います。

委員) この間の町長選で、学校のあり方検討委員会で今検討してもらっていますという書き方をなさっていましたよね。将来を考えましょうと。ここで決めろという町民向けのアピールではないかと思うのですが。

事務局) ここで決定したことで全部決まるということではなくて、あり方検討委員会をつくって、そこに町民の代表の方、学校の先生方に入っていて、いろんな意見を聞いて、この会議ではこういう意見でまとまりましたというのを踏まえて、町が検討していくものです。町長からは、委員さん方が委員会でいろいろ意見を出し合っているんで、現時点で私からはこうしますとは言えませんとおっしゃっていました。

委員) 具体的にはいつ頃を設定してやっていくのがいいか。

事務局) この委員会でいつまでに何をすると決めるわけではなく、より良い学校教育のあり方について検討することなので、このまま町内小学校の格差があった状態のまましておくのが良いのか、子どものためにより良い教育環境について、検討しているものです。あまり少ない人数でという環境よりも切磋琢磨できるような環境を用意してあげたほうが良いということで、アンケートなどもとりましたけれども、住民アンケートは半分くらい返ってきているのですが、その中でも今のままがいいという人は少な

いです。アンケートの結果や学校現場をみていただき、話し合いをした中で、どうしていくのがいいか、まずは何をしたらいいか、またその先はどうか、というところで話し合いができればよいと思っています。

委員長) 同じ町内の子どもたちが、同じような環境でできればいいと思います。

委員) 町民アンケートはいつごろオープンになるのか。

事務局) 町民アンケートは6月末でまとめるのですが、まだ少しずつ返ってきているので、来週には締切り、まとめていきたいと思っています。9月の会議の時には皆さんにお示しできるようにしたいと思います。

委員長) 皆さんの方で付け加えがあるなど、意見をお持ちの方がいらっしゃいましたらお願いします。

委員) 参考にしている市町村はあるのですか

事務局) いろいろなやり方があるみたいなのですが、今回は行政主導でやっているわけではないので、ここでの話し合いの結果を答申して、それから町全体で検討してということになります。モデルにしている市町村が特にあるわけではなく、長瀬町としては、まず検討委員会をつくり、皆さんの意見を聞いて、意見を踏まえて始めたところです。

委員長) 今どこも子どもが少なくなっている。

委員) 新聞で見たのですけれども、行田のほうで学区変更するという学校があるみたいと聞いたのですが。

事務局) 例えば、第二小学校のような規模の学校が2つあって、同じ規模だと統合がすんなりいく場合があると思います。

委員) 皆野の日野沢みたいに限界集落みたいになっているようなところ、などでしょうか。

委員長) いろいろご意見をいただきました。話を聞くのと実際に見るのとでは違った部分もあり、それぞれの良さがあります。各学校とも雰囲気良かったと思いました。

## (2) その他

### 4 事務連絡 (事務局から)

次回の委員会の内容と日程についてなのですが、アンケートの結果をまとめまして、みなさんに報告をしたいと思っています。また、もう一つ小中一貫教育というのがアンケートの意見にでてきていますので、指導主事か



ら、一貫教育について、お話をさせていただきたいと思います。時期なのですけれども、2か月に1回ということで、9月頃を予定したいと思います。8月くらいになりましたら、早めに皆さんにお知らせしたいと思いますので、ぜひ出席をお願いします。

#### 5 閉会（事務局）

第6回長瀬町学校のあり方検討委員会、学校見学会と会議を終了させていただきます。本日は朝早くから長い時間ありがとうございました。